

# 神戸大学医学部附属病院

## 総合内科

### 指導担当医（役職）

乙井 一典（准教授）

### 実習概要

#### 概要

総合内科の主治医団の一員として4週間過ごします。オーダー（投薬）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人当たり患者さんを2～3人担当し、主治医団の回診やIC、チームカンファレンスに参加し、検査・治療計画の立案を学びます。日々のカルテ記載、モーニングカンファレンスでの症例プレゼンテーション、また内科救急での初期対応など、医師としての基礎体力の経験値アップを目指します。

#### 医療面接

毎日1回は必ず担当患者を訪室し問診を行い、また内科救急、初診外来で病歴聴取を行います。患者とのコミュニケーション力を磨き、病歴聴取からの診断推論等を学びます。

#### 身体診察

担当患者を毎日診察します。初回時のスクリーニング診察、日々の診察では個々の患者でポイントを絞った診察を行い、身体診察からの診断推論、治療経過の把握等を学びます。

また身体診察の一部であるベッドサイドでの簡易エコー検査(POCUS)の見学、簡単な手技を学びます。

#### カルテ記載

毎日、学生カルテに記載し、指導医が記載内容をチェックし指導します。初診時等の基本的なカルテ記載法、症例把握のためのポイントを絞った簡潔なカルテ記載を学びます。

## 症例プレゼンテーション

週2回のモーニングカンファレンスで、研修医とともに口頭で担当患者のプレゼンテーションを行い、基本的な症例プレゼンテーション法を学びます。

## その他（特色など）

入院患者の疾患は多岐に渡り、また多疾患併存の患者が多く、個々の症例で疾患だけではなく、患者全体を診た診療スタイルを経験、学びます。

内科救急症例からは、症状、症候からの鑑別診断を医療面接、身体診察から学び、実際の検査・治療計画の過程を学びます。

mini-CEX(簡易版臨床能力評価)を外来患者、入院受け持ち患者で行い、医療面接、身体診察の評価、フィードバックを行います。

静脈採血やPOCUSなど、基本的な検査手技を学びます。

## 学生へのメッセージ

臨床実習1では医師としての基礎体力である医療面接や身体診察に加え、カルテ記載や症例プレゼンテーションを経験してもらいましたが、臨床実習2ではそれらの経験値アップを目指し、また基本的な検査手技を学んでもらいます。特にPCC-OSCE対策にもなる症状、症候からの鑑別診断に対する医療面接、身体診察力アップを目指してもらいます。

また、当科教官との内科救急当直の体験実習も希望者のみですが行っています。簡単な手技含め経験値アップの機会になると思います。医師としての基礎体力をしっかり身につける期間にしてください。